

教 特別活動論

Study of Extra-Curricular Activities

KONISHI Etsuko

MURAKI Akira

小西 悦子 村木 晃

科目ナンバリング：UTL-2-311-03

■授業の目的及び到達目標

学習指導要領における特別活動の教育的意義、目標、内容について理解を深め、指導計画の作成や具体的な指導方法を学ぶことにより、教師としての資質・能力を高めることを目的とし、学習指導要領における特別活動の目標、内容及び内容の取り扱いついて理解し、特別活動の指導計画を作成できるようにすることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 特別活動の特質と意義
特別活動の特質と教育的意義、特別活動の歴史の変遷等について概観する。
- 2 教育課程と特別活動
学習指導要領における教育課程の意義、教育課程の編成と特別活動、特別活動の目標と内容、内容の構成等について理解する。
- 3 特別活動の指導
特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連についてその相互補完性、共通点、相違点等を理解し、学級担任として必要な資質を高める。
- 4 生徒指導と特別活動
生徒指導の目的、機能、領域及び内容、生徒指導と生徒理解、特別活動と生徒指導との関連、「チームとしての学校」の視点や家庭・地域・関係機関との連携等について理解する。
- 5 人間関係づくりと特別活動
集団活動の意義、子供たちの人間関係形成にかかわる課題、望ましい人間関係づくりについての理解を通して学級や学年の指導に役立てる。
- 6 人間関係づくりの演習
構成的グループ・エンカウンター演習（自己理解、他者理解、信頼体験、シェアリング等）を通して学級や学年における人間関係づくりの指導の技法を身に付ける。
- 7 社会性の育成と特別活動
子供たちの社会性と今日的課題、社会性の育成と特別活動の目標、望ましい集団活動、社会性をはぐくむ視点や社会参画を促す視点から特別活動の指導を考える。
- 8 学級活動の実践
学級活動の目標、学級活動の内容（学級や学校の生活の充実と向上、健康と安全、学業と進路）、特質について理解し、指導内容を検討する。
- 9 学級活動の指導計画と学習指導案の作成
年間指導計画の例示をもとに、1単位時間の指導計画を作成する。
- 10 学級づくりの実践
学級経営において大切なことについて理解し、学級において生徒との親和性を高める方策について演習を通して検討する。
- 11 生徒会活動の実践
生徒会活動の目標、意義と役割、内容、特質、指導計画の作成、指導上の留意点などについて理解する。
- 12 学校行事の実践
学校行事の目標、教育的意義、内容、特質、各学校行事のねらいと指導上の留意点などについて理解する。
- 13 学校行事の指導計画と指導案の作成
学校行事の事例をもとに、学校行事の年間指導計画、個別の行事の指導計画を作成する。
- 14 特別活動の評価
学習評価の意義、機能、特別活動における学習評価（評価項目、評価基準、指導と評価の一体化）について理解する。
- 15 学修のまとめ
学修のまとめとして総合的な試験を行い、フィードバックとしての解説を行う。

■授業の方法

前半の基本編では、講義を中心とし、項目ごとに学習のまとめとしてワークシートを活用し内容の定着を図る。後半の実践編では講義に基づいて個人研究やグループ研究のほか、集団活動の演習等も行う。

■予習・復習

- ・本時の関係箇所についてテキストを通読する。また、自分の中学校、高校時代の特別活動をまとめておく。
- ・返却された指導案の再構成を行う。また、適宜、前時の復習テストを行っていく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

課題への取り組み、レポート等の提出物、試験の結果により総合的に評価する。
試験70%、学修への取組状況（課題の達成状況等）30%

■教科書・参考書

教科書：「特別活動指導法」（日本文教出版）、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別活動編、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説特別活動編を使用する。

■関連する科目

教職論、教育原理、教育課程論、生徒指導論、総合的な学習の時間指導論などの教職課程科目が直接関連する。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

授業担当の小西 悦子は、東京都私立高等学校、東京都立高等学校にて通算34年間、村木 晃は神奈川県立高等学校、東京都立高等学校にて通算31年間の勤務があり、それぞれ特別活動の指導・研究の実績を持つ。